

歌碑

文化

寺社

# 南阿蘇って

石橋  
いいな  
板碑

点在する文化財を訪ねて

(随時掲載)

神体

伝統

歴史

## 見守り見守られて

今年を振り返るにはまだ  
ちょっと早いと思われる晩秋



▲歴史をにじませています  
(くまモンの高さは約50センチです)

世界ジオパークの「ジオ」といいますのは、ギリシャ語で地球や大地という意味で、その貴重な地質や地形を生かしながら生態系が維持されたり、文化が生まれ育まれたりしている地域を指すということらしいですよ。

今年も世界ジオパーク認定に恥じないというより、自信を持ってお勧めできる仏像を紹介します。

お堂入口には、西国阿蘇三十三ヶ所めぐり二十五番札所の看板がかけてあり、今さらながら霊場めぐりの規模の大きさと人々の信仰の深さ、うかがえますね。

今年も残すところあと1カ月となりましたが、みなさんにとってこの1年どんな年だったでしょうか。来年も文化財探訪を続けてみましょうか。

のがある日、レフ板作成事故(詳細については先月号で紹介しています)で痛めた左手中指先をさすりながらちよつとだけ気取り、さらにほお杖つくという余裕をかませながら思いを巡らしてみました。私たちが住むこの阿蘇はとつともなく素晴らしいところですね。

が生活を営んでおり、さらには外輪山の外部周辺まで含めると約7万が住んでいるというのが世界的にも珍しく貴重で、認定審査でも高い評価を受けたようです。

お堂は数年前地域のみなさんの浄財をもとに改築されたそうです。

今改めて観音様を見てみると、数多の人々を見守り、逆に数多の人々から見守られてきたその長い歴史が、にじみ出ているかのように見えてきましたから不思議ですね。

「記事と写真」

県文化財保護指導委員

笠野 次雄